

- 露出部，下肢に好発し，紅色丘疹，疣状局面を呈する。
- 発達が遅く，外方増殖性の局面を形成する。

症状

中年の男女に好発する。四肢や顔面などの露出部，とくに下肢に好発する。紅色の丘疹が出現し，次第に拡大して，暗赤色の鱗屑を伴う隆起性局面を形成する。中心治癒傾向を生じて，環状ないし馬蹄形の外観を呈することもある（図 25.21）。膿瘍や自潰，潰瘍形成を起こすことは少なく，全体として乾燥性の病変を呈する。表面が疣状を呈することがあり疣状皮膚炎（dermatitis verrucosa）と呼ばれることもある。著明な腫瘍性病変を形成し，カリフラワー状の外観を呈することもある。自覚症状はほとんどない。通常は単発病変で自然治癒せず慢性に経過するが，リンパ行性に拡大したり，汎発化し致死性となる症例もある。

病因

自然界に存在する黒色真菌が皮膚外傷から侵入し，肉芽腫性病変を形成する。原因菌は *Fonsecaea monophora* によるものが最多で，その他に *F. pedrosoi*, *Phialophora verrucosa*, *Cladosporium carrionii* などがある。これらの菌は腐木，植物，土壤などに常在しており，軽微な外傷を介して真皮内へ感染する。潜伏期間は数年と考えられている。

病理所見・診断

病変部の鱗屑を KOH 直接鏡検すると，褐色の円形ないし多角形の大型胞子 (sclerotic cell) が認められ，診断的価値が高い。病理組織学的には，真皮から皮下組織に肉芽腫性病変を認める。HE 染色においても胞子が観察できる。Sabouraud ブドウ糖寒天培地による鱗屑などの培養，PCR 法なども行われる。

治療

病変が小さい場合には，病変境界部から 5～10 mm ほど離して切除する。イトラコナゾール，フルシトシン，テルビナフィン塩酸塩の内服や，温熱療法も有用であるが，難治性のことも多い。

3. 菌腫 mycetoma

類義語：マズラ足（Madura foot）

皮下硬結，膿瘍を形成し，瘻孔が多発してさらに顆粒（grains）を排出する慢性肉芽腫性病変をいう。原因微生物に

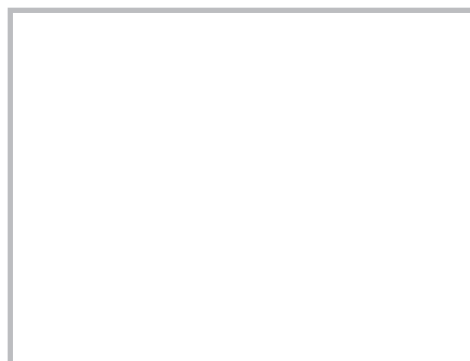


図 25.21 クロモブラストミコーシス (chromoblastomycosis)
表面が疣状を呈することもある。

黒色真菌感染症
(dematiaceous fungal infection)

MEMO

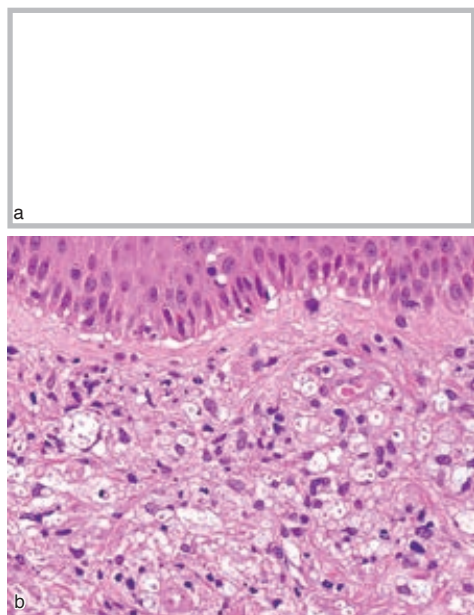


図 25.22 皮膚クリプトコッカス症 (cutaneous cryptococcosis)
a: 蜂窩織炎様皮疹。b: 病理組織像。莢膜を伴う胞子が組織球内に多数観察される。

より、放線菌性菌腫 (*Nocardia asteroides* など、24 章 p.531 も参照) と真菌性菌腫 (*Pseudallescheria boydii* など) に分類される。これらの菌は土中に常在しており、戸外労働者の下肢、足部に好発する。毛包炎や慢性膿皮症に類似した病変が生じ、次第に拡大する。顆粒は直径 1 mm ~ 1 cm 大で、本態は菌塊である。年余にわたって経過し、関節や骨病変を形成することもある。

4. 皮膚アスペルギルス症 cutaneous aspergillosis ★

土壌などに広く存在する *Aspergillus* 属 (*Aspergillus fumigatus* など) による。多くは日和見感染として肺や外耳道に病変を形成し、皮膚病変はまれである。肺病変から血行性に菌が撒布されて全身に肉芽腫性病変を形成するもの (続発性皮膚アスペルギルス症)、長期臥床、ギプス固定などの局所要因を契機に、皮膚に直接寄生して体部白癬様や毛包炎様の皮疹をみるもの (原発性皮膚アスペルギルス症) などに分類される。

5. 皮膚クリプトコッカス症 cutaneous cryptococcosis ★

顔面や頸部、頭部に好発する。自覚症状のない瘡瘍様丘疹で始まり、次第に拡大して膿瘍を形成する。潰瘍や硬い皮下結節、蜂窩織炎などの多様な皮疹を呈する (図 25.22a)。土壌や、とくにハトの糞中に存在する *Cryptococcus neoformans* による、真皮~皮下組織の感染症である。皮膚の外傷部位に直接侵入して発症するもの (原発性皮膚クリプトコッカス症) と、吸入により肺病変をきたし、血行性播種によって全身皮膚に生じるもの (続発性皮膚クリプトコッカス症) とが存在する。後者は日和見感染として、ステロイド長期使用者や AIDS 患者にみられることがある。膿汁を墨汁法で鏡検すると、特有の厚い莢膜 (きょうまく) をもった胞子が観察される。病理組織学的検査 (図 25.22b)、真菌培養、血清中の *C. neoformans* 抗原ないし抗体測定なども診断に有用である。

6. パラコクシジオイデス症 paracoccidioidomycosis

同義語: 南米ブラストミセス症 (South American blastomycosis)

ラテンアメリカの風土病であるが、ごくまれに日本に持ち込まれることがある (輸入真菌症)。吸入感染で肺に病変を形成し、

図 25.23① パラコクシジオイデス症 (paracoccidioidomycosis)